

企業物価指数における調査価格の変更実績（2004年1～3月中）

1. 調査価格の変更件数

()内は前年、[]内は全体の調査価格数<2004/3月時点>

主な類別	件数	主な品目名
国内企業物価 [5,507]	337(270)	
電気機器	83(89)	汎用コンピュータ・サーバ、パーソナルコンピュータ、携帯情報端末、印刷装置、表示装置、端末装置、携帯電話機・PHS 電話機、ビデオカメラ、オーディオ、ルームエアコン、理容用電気器具、メモリ部品
鉄鋼	41(23)	普通線材、特殊線材、冷延広幅帯鋼、冷延電気鋼帯、ブリキ、クロムめっき鋼板、合金工具鋼、軸受鋼、ステンレス鋼（熱間）、硬鋼線、鉄鋼切断品（薄板）
化学製品	37(17)	家庭用合成洗剤、石けん、口紅、アイシャドウ、乳液、シャンプー、ヘアリンス、整髪料、写真フィルム
その他工業製品	31(15)	配合飼料、金属製流し台セット、特殊印刷物、革靴、自動車タイヤ、電子ピアノ・オルガン、ゴルフ用具
一般機器	27(29)	コンベヤ、エレベータ、肉製品・水産製品製造機械、半導体製造装置、製材・木工機械、複写機、娯楽機器
繊維製品	26(17)	毛織物、ブラウス、ポロシャツ・Tシャツ・トレーナー、女子用スーツ・スカート類、子供服、スポーツウエア
製材・木製品	20(4)	国産材ひき角、外材ひき角、国産材ひき割、国産材板、外材板、造作材、集成材、パーティクルボード
金属製品	14(18)	くぎ、スチールドア、ガスこんろ、食缶、なべ、超硬チップ、金属製パッキン・ガスケット
精密機器	14(5)	公害計測器、医療用機器、歯科材料、カメラ、腕時計、写真装置・同関連器具
輸出物価 [1,155]	68(96)	
電気機器	26(32)	表示装置、ビデオカメラ・デジタルカメラ、蓄電池、電子機器用コンデンサ、プリント配線板、整流素子
金属・同製品	11(25)	形鋼、冷延広幅帯鋼、磨棒鋼、アルミニウムはく
輸送用機器	7(9)	小型乗用車、普通乗用車、二輪自動車、航空機部品
精密機器	7(3)	カメラ、現像関連機器、双眼鏡、医療用機器
輸入物価 [1,626]	145(102)	
機械器具	66(43)	原動機、農業用トラクタ、電子計算機本体、表示装置、録画・再生装置、モス型メモリ集積回路、普通乗用車、二輪自動車、医療用機器、理化学機器、カメラ
繊維製品	21(20)	セーター、背広服・ズボン類、子供服、カーテン
化学製品	16(13)	有機ゴム薬品・カーボンブラック、化学療法剤、染料
金属・同製品	14(3)	厚板、熱延広幅帯鋼、冷延広幅帯鋼、めっき鋼板
合計 [8,288]	550(468)	

(注) 調査価格の変更：調査対象商品の変更、取引条件の変更、調査先の変更、輸出先・輸入元の変更、契約通貨の変更等。

2. 新旧商品の品質調整の方法

件、()内は前年

	国内企業物価	輸出物価	輸入物価	合計
コスト評価法	43(59)	9(13)	22(34)	74(106)
オーバーラップ法	19(1)	1(1)	1(0)	21(2)
ヘドニック法	18(14)	4(6)	5(2)	27(22)
直接比較法	54(90)	5(40)	27(16)	86(146)
単価比較法	24(4)	0(0)	11(1)	35(5)
比較困難	172(102)	47(31)	72(45)	291(178)
その他	7(0)	2(5)	7(4)	16(9)

(注1) 各品質調整方法の内容とその具体例については、「卸売物価指数の解説」付録編の付8「品質調整の具体例」をご覧ください。

(注2) その他は、契約通貨の変更等。

3. 指数上の処理

件、()内は前年

	国内企業物価	輸出物価	輸入物価	合計
値上げ	36(16)	4(12)	8(7)	48(35)
保合い	245(192)	58(69)	111(76)	414(337)
値下げ	56(62)	6(15)	26(19)	88(96)

(注) オーバーラップ法(新旧商品の価格差を両商品の品質差とみなして、実質保合いで指数を接続する方法)を適用したケースについても、新しい調査価格が前月に比べ下落(上昇)している場合は、値下げ(値上げ)処理として扱っている。

4. その他

【 価格調査段階の変更<国内企業物価> 】

()内は変更を行った調査価格数

類別	品目名	変更内容	実施月
製材・木製品	パーティクルボード	(3) 卸売 生産者	1月
電気機器	電気洗濯機	(1) 生産者 卸売	1月
"	印刷装置	(1) 生産者 卸売	3月
"	換気扇	(1) 生産者 卸売	3月
"	乾電池	(1) 生産者 卸売	3月
その他工業製品	革かばん	(2) 卸売 生産者	3月
農林水産物	米	(2) 卸売 生産者	3月

需給の動きや技術革新の影響を含めた価格動向を、よりの確に指数に反映する目的で実施。

【 平均価格の採用に関する変更】

()内は変更を行った調査価格数

類 別	品目名	変更内容	実施月
国内企業物価			
加工食品	マーガリン (1)	標準価格 平均価格	1月
"	処理牛乳 (1)	標準価格 平均価格	1月
"	バター (1)	標準価格 平均価格	1月
"	チーズ (1)	標準価格 平均価格	1月
"	ヨーグルト (1)	標準価格 平均価格	1月
"	乳飲料 (1)	標準価格 平均価格	1月
"	乳酸菌飲料 (1)	標準価格 平均価格	1月
"	トマトケチャップ (2)	標準価格 平均価格	1月
化学製品	ソーダ灰 (1)	取引価格 平均価格	1月
"	けい酸ナトリウム (1)	取引価格 平均価格	1月
プラスチック製品	プラスチック床材 (1)	取引価格 平均価格	3月
窯業・土石製品	複層ガラス (1)	標準価格 平均価格	2月
金属製品	くぎ (2)	標準価格 平均価格	1月
一般機器	車両搭載クレーン (1)	標準価格 平均価格	2月
"	複写機 (2)	平均価格を追加	2月
電気機器	理容用電気器具 (1)	標準価格 平均価格	1月
"	理容用電気器具 (1)	取引価格 平均価格	2月
輸入物価			
繊維製品	カーテン (2)	平均価格 取引価格	3月

(注) 取引価格：実際の取引価格。

標準価格：標準的な建値、仕切価格、定価×掛目、料金表価格など、実際の取引において目安とされる標準的な価格。

平均価格：商品あるいは取引条件の異なる複数の実際の取引価格を、それぞれの取引数量で加重平均した価格。

以 上